

令和7年度「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」受賞者概要

表彰の趣旨

男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は仕事や地域活動等様々な分野でチャレンジし活躍している個人若しくは団体を顕彰し、その功績を称え、男女共同参画社会づくりに対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会の形成の促進に資するものです。

功労者表彰

多年にわたり男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。

令和7年度は、1名が受賞されました。

かきざき えつこ
柿崎 悦子氏（米沢市）

【主な功績】

男女共同参画の視点に立った教育が重要との認識のもと、長年にわたり主に教育分野において精力的に活動し、女性の理工系人材の育成や教員の意識改革などを進め、本県の若い世代に対する男女共同参画の推進に寄与している。

県立高校理科教員時代には、女子生徒が女性研究者や大学院生と交流できる機会を積極的に創出し、また、生徒に近い存在として自らがロールモデルになるなどして、女子生徒の理工系分野への進路選択の促進に貢献した。教員退職後は、学校教育における男女共同参画の推進に向けて、教員への研修等を通して意識改革を推進している。

さらに、県民向けの講座や企業を対象とした講演会など様々な場で講師を務め、広く男女共同参画の重要性の普及にも取り組んでいる。

【主要経歴】

- H28 山形県立小国高等学校 校長
- H30 山形県立米沢興譲館高等学校 校長
- R2～R6 山形県若年女性県内就職・定着促進協議会委員
- R3～ 山形大学ダイバーシティ推進室副室長、准教授
- R5～ 山形市男女共同参画審議会会長
- R7～ 山形県犯罪被害者等支援推進委員会委員

チャレンジ賞

仕事や地域活動など様々な分野でチャレンジし活躍している個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。

令和7年度は、1団体が受賞されました。

特定非営利活動法人^{シ ス タ ー フ ッ ド} Sisterhood（山形市）

【主な功績】

本県初となる若年女性に限定したフリースペース「^{メイフラワー}mayflower」を開設し、地域社会の中で生きづらさを抱えている女性が気軽に立ち寄り安心して過ごせる居場所や交流機会を創出している。若年女性の孤独感や孤立感を軽減し、自分らしい生き方や働き方で社会参画していくことにもつながる先駆的な取り組みであり、若年女性の県外流出が深刻な本県において、選ばれる地方になるための取り組みとしてモデルになり得るものである。

さらに、これまでのノウハウを活かして様々な事業に積極的に取り組んでおり、今後も社会情勢や利用者のニーズを踏まえた新たな事業にチャレンジしていくことが期待される。

【主要活動】

- R4 団体設立、活動開始（R6 特定非営利活動法人化）
- R4～ 女性の生きづらさやジェンダーを学び合うオンライン講座「ジェンダーワークショップ」を設立当時から継続
- R4～ 女性支援や居場所づくりに関する「支援者向け学習会」を月1回開催
- R5 経済的に苦しい一人暮らしの女子学生を対象に「みんなで作ろう夜ごはん」を開催（山形市コミュニティファンド助成事業） ※現在は mayflower で開催
- R5 「生きづらすぎない？もっと自由に生きたい私たちのためのブックガイド」作成（県男女共同参画センター助成事業）
- R6～ 若年女性のフリースペース「mayflower」開所（休眠預金活用事業）
- R6～ 困難を抱える若年女性への就活用スーツ無料貸出し事業を開始（やまがた社会貢献基金助成事業）